

# 東浦町下水道事業経営戦略(概要版) 計画期間:令和6(2024)年度~令和15(2033)年度

## 1. 東浦町の下水道事業について(2022年度末)

- ・供用開始:平成元(1989)年
  - ・整備面積:659.4ha(市街化区域の約85.7%)
  - ・処理区域内人口:43,472人(住基人口の約86.5%)
  - ・接続人口:37,806人(処理区域内人口の約87.0%)
- ①大規模な整備はほぼ完了しています。  
 ②本格的な管きよの更新は20年ほど先になります。  
 ③少子高齢化による接続人口の減少が始まっています。

## 2. 現状の課題について(本編3章、4章より)

- ①人口減少により今後の使用料収入増は見込めません。  
 ②汚水処理を流域で行っているため、費用削減につながっている反面、将来的な支出見込は立てづらい状況です。  
 ③下水道使用料だけで汚水処理費を賄えておらず、不足分は国が示している基準にない繰入金(基準外繰入金)として一般会計から3億円以上が補てんされています。

| 繰入金実績(千円) |         | 2019年度  | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度  |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 収益的収入     | 雨水(基準内) | 197,839 | 173,601 | 182,822 | 177,704 |
|           | 汚水(基準内) | 68,571  | 20,980  | 45,637  | 23,138  |
|           | 汚水(基準外) | 260,830 | 237,825 | 219,541 | 184,158 |
| 資本的収入     | 雨水(基準内) | 21,822  | 16,191  | 24,782  | 10,072  |
|           | 汚水(基準内) | 21,169  | 19,080  | 16,064  | 14,107  |
|           | 汚水(基準外) | 107,097 | 189,562 | 191,154 | 200,821 |
| 合計        |         | 677,328 | 657,239 | 680,000 | 610,000 |
| うち基準外     |         | 367,927 | 427,387 | 410,695 | 384,979 |

- ④国が示した健全経営の指標を満たしていません。(「3. 国が示している健全経営の指標について」参照)  
 ⇒経営改善に向けた取り組みを早急に行う必要があります。

## 3. 国が示している健全経営の指標について(本編5章、6章より)

社会資本整備総合交付金(国からの補助金)の交付要件として「少なくとも5年に1回の頻度で、下水道使用料改定の必要性の検証を行い、経費回収率向上に向けたロードマップを経営戦略に記載し、国土交通省へ提出するとともに、検証結果を公表していること。」とあります。そこで、以下3点の社会資本整備総合交付金重点配分に係る交付不可要件を国が示した健全経営の指標と捉え、この指標から改善させることを目標に経費回収率の向上に向けたロードマップを作成しました。

- ①経費回収率が80%未満(東浦町は約60%)
- ②使用料単価が150円/㎡未満(東浦町は約92円/㎡)
- ③15年以上使用料改定を行っていない(東浦町は26年間未改定)

※経費回収率の推移(決算状況調査より)

| 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 60.07% | 59.73% | 59.79% | 60.05% |

表 経費回収率の向上に向けたロードマップ(本編第5章より)

|        | R1   | R2   | R3   | R4   | R5   | R6   | R7   | R8   | R9   | R10  | R11  | R12  | R13  | R14  | R15  |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|        | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 2031 | 2032 | 2033 |
| 経営戦略   |      |      |      |      | ◎    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 使用料の検討 |      |      |      |      |      |      |      | ☆    |      |      |      |      | ☆    |      |      |

今後は5年に1回適正料金と改定の必要性を検討していきます。

ここで経費回収率が80%以上になるよう検討します!!

※表中「◎」は経営戦略の見直し、「☆」は使用料の改定期を表しています。

## 4. 今後の経営方針について(本編4章より)

- ①接続件数の増加を目指します。  
 接続人口の減少による使用料収入減を接続件数の増加で最小限に留めるため、未接続者に対する接続PRをしていきます。
- ②経費回収率の向上を目指します。  
 使用者への影響の大きさを考え、まずは経費回収率80%以上を目標とします。将来的には100%を目指します。
- ③施設の維持管理に努めます。  
 耐用年数到達はまだ先ですが、定期的な維持管理により事故や災害時の被害軽減に努めます。